

広報ぬまた

# NUMATA

2026  
Mar

4

No. 699



## 3/31 ありがとう留萌本線 そして新たに始まる「石狩沼田駅物語」

### 目次 contents

- |                            |    |               |    |                  |    |
|----------------------------|----|---------------|----|------------------|----|
| ■ ありがとう留萌本線、<br>私たちの記憶とともに | 2  | ■ 深川警察署中西所長   | 23 | ■ 沼田消防から（消報）     | 36 |
| ■ 町政執行方針                   | 8  | ■ 厚生クリニック斎藤院長 | 24 | ■ 生涯学習ゆめっくる      | 37 |
| ■ 教育行政執行方針                 | 12 | ■ 機構図         | 26 | ■ 図書館バックヤード      | 38 |
| ■ 令和8年度主要事業                | 14 | ■ 新規採用職員の紹介   | 28 | ■ 地域おこし協力隊活動新聞   | 39 |
| ■ まちのできごと                  | 19 | ■ ふるさと創造懇談会   | 32 | ■ けいなびアワード 大賞を受賞 | 40 |
|                            |    | ■ 深川警察庁舎から    | 35 |                  |    |

# ありがとう留萌本線



明治43年11月23日の開通以来、町民の足として支え続けたくれたJR留萌本線の石狩沼田～深川間（14.4キロ）が、令和8年3月31日（火）をもって115年の歴史に幕を下ろしました。

ラストランとなったこの日は、全国各地から「最後の雄姿」を一見ようと駆け付けた多くの鉄道ファンが列車に乗りし、石狩沼田駅を訪れました。

石狩沼田駅では、これまで「沼ルシエ」の開催など石狩沼田駅を盛り上げていただいた石狩沼田駅未来協議会（松尾敦史会長）の売店や終着駅特製駅弁、駅そば、留萌本線グッズの販売などが行われ、町民や多くの鉄道ファンがそれぞれ別れを惜しんでいました。

いよいよラストランの時間が近づくと駅周辺には多くの人が集まり、満員状態の3両編成の最終列車は、午後9時34分、定刻より23分遅れで吹ガールズが演奏する中、配布されたペンライトを振り見送る人々の「ありがとう」の感謝と夜空を彩る花火に見送られ出発しました。

# 115年の歴史に幕。



▲最終運行日に設置されたヘッドマーク

3/14 石狩沼田駅イベント「沼ルシェ」



地元の飲食店などが軒を連ね、炭鉄港めしのカレーラーメンや駅そばなど、鉄道旅の情緒を誘うメニューや各日30食限定の「特製終着駅弁当」が販売されました。

3/7 ありがとう留萌本線 記念証ラリー



留萌本線各駅で違うデザインのカードが配布され、当日限定の到着記念証を求めて多くの鉄道ファンが石狩沼田駅を訪れました。

明治43年の開通以来、幾多の冬を超え、私たちの日常を運び続けてきた留萌本線。石狩沼田駅周辺では、長い歴史の中でもかつてないほどの温かな賑わいに包まれた最後の一か月の様子を掲載いたします。

3/22 春の終着駅 キッチンカー祭り



北海道各地から有名キッチンカーが出店し、来場者は、たこ焼きやクレープなど様々なグルメを堪能していました。

3/21 沼田町春の雪まつり (2日目)



あいにくの悪天候に見舞われましたが「ビアガーデン」が開催され、雪に負けず、温かいもつ鍋や焼き鳥を囲みながら駅前の風景を心に刻んでいました。

3/20 沼田町春の雪まつり (1日目)



夜高太鼓による勇壮な演奏で始まり、子ども達を対象にした「お宝まき」やN-link.によるスポーツレク、豪華景品が当たる「子どもビンゴ大会」が開催されました。

3/29 ありがとう留萌本線 記念講演会 (2日目)



「ありがとう留萌本線～鉄道と町の思い出を鉄道唱歌にのせて～」と題し、街歩き研究家の和田哲わたさとしさんの講演が行われ、留萌本線や石狩沼田駅の歴史の解説、和田さんと横山町長らによるパネル討論会が行われ、廃線後の石狩沼田駅の活用などについて意見を交わしました。

3/28 ありがとう留萌本線 記念講演会 (1日目)



「イラストで迎える留萌本線」と題し、「るもいせん各駅散歩」の著者である山本留吉やまもとどめきちさんとイラストレーターの始発ちゃん(リモートで参加)をお招きし、「るもいせん各駅散歩」を基に留萌本線の各駅解説や実際に訪れた際の思い出などをお話しいただきました。

3/28 さようなら石狩沼田 フェスタ



28日(土)から30日(月)の3日間開催され、町内外から飲食店などが並び、駅そばや鉄道グッズの販売が行われたほか、大道芸も行われました。

## 留萌本線最終運行日の様子



緑町旧踏切から撮影したキハ54形



朝から多くの鉄道ファンが石狩沼田駅を訪れました



乗車切符を購入するために長蛇の列となりました。



最終日限定でヘッドマークが設置されて運行しました。



最終列車の発車時刻が近づくと石狩沼田駅周辺には多くの人が集まっていました。



最終電車の乗車切符を購入するための列が16時頃から整理されました。



約500人がホームに集まり、ペンライトを振って最終列車を見送り、別れを惜しみました。

### 運行最終日に石狩沼田駅で行なわれたイベント

- 9時～21時  
ありがとう留萌本線フェスタ
- ・到着証明証の配布
  - ・終着駅特製駅弁・駅そば・留萌本線グッズなどの販売
- 11時～  
JR北海道主催  
「ありがとう留萌本線お別れセレモニー」
- ・横山町長、島田会長（JR北海道）挨拶
  - ・深川駅長へ花束贈呈
  - ・吹ガールズが演奏する中、お見送り
- 21時34分発～（定刻：21時11分）
- ・深川駅長へ花束贈呈
  - ・花火打ち上げ
  - ・吹ガールズが演奏する中、ペンライトを振ってお見送り

## ありがとう留萌本線お別れセレモニー

留萌本線運行最終日となった3月31日(火) JR北海道主催の「留萌本線お別れセレモニー」が執り行われました。多くの町民、鉄道ファンが石狩沼田駅に集まる中、横山町長とJR北海道の島田修会長がそれぞれスピーチ(下記に全文記載)をし、留萌本線への想いを涙ながらに話されました。

その後、「吹ガールズ」が演奏する中、ホーム上で高校時代にJR留萌本線を利用して通学していた松尾春花<sup>まつおはるか</sup>さんから深川駅長へ花束が渡され、出発進行の合図で列車は走り去っていきました。



### ありがとう留萌本線お別れセレモニーでの町長スピーチ【全文】

沼田の地にも春の暖かさが感じられる季節となった本日、終着駅で始発駅の石狩沼田駅に多くのご来賓各位のご臨席のもと、JR留萌本線お別れセレモニーが開催されるに当たり、地元を代表し一言お別れの言葉と町民をはじめとする皆様にお詫びのご挨拶をさせていただきます。

開業から113年目の令和5年3月31日、今から3年前の今日、石狩沼田駅から留萌駅間が姿を消して早3年。実に1000日以上の時があっという間に過ぎ、来てほしくなかった今日、令和8年3月31日を迎えてしまいました。この沼田の地に鉄道が敷設されたのは、115年前の1910年。沿線自治体の歴史と共に歩んできた「留萌本線」とも本日でお別れです。

これまでに多くの人々に愛されてきましたが、連ドラブームも過ぎ去り、高校の閉校や新型コロナの発生、人口減少などの影響から利用者数の減少により、時代の流れとは言え、本日をもって全線が廃線となることは、言いようのない淋しさと悔しさが募り、ただ、ただ存続が出来なかったことに沼田町民と全国の応援団の皆様に対しまして心からお詫びを申し上げたいと思います。誠に申し訳ありませんでした。

この沼田町に鉄道が通ったのも沼田町開拓者の沼田喜三郎翁が自身の土地や財産を提供されたことによりこの地に鉄道が敷設されたと聞かされていきましたので、これまでも地域の財産である留萌本線を持続させ、更には今後の鉄道を守るために道内自治体では唯一JR北海道を支援する立場を明確にした上で、町の応援団組織である「JRに乗り続け隊」の皆様のご協力も得ながら様々な活動を展開してきたところです。

この留萌本線は、明治末から1世紀以上にわたって地域の足を支え、石炭やにしん・農産物の物流、そして通学・通院の要でありましたが、北海道各地の路線が「赤字」の二文字で排除され鉄路が消えてしまうことに今でも憤りを感じています。

北海道の広大な大地に鉄道が整備され、ローカル地域の隅々まで鉄路が繋がっていたからこそ、極寒の大地での生活基盤を続けることが出来たもので、道民の生活をはじめ北海道農業を、観光産業を、そして、通学や通院を必要とする方を守るためにも鉄路の存在は今後も絶対に必要です!

どうか、これ以上道民が苦しむことの無いよう関係機関の皆さんがしっかりとスクラムを組んで取り組んでいただけることを願います。また、JR北海道には「お客様に利用してもらいやすい環境をしっかりと構築すること!」を強くお願い申し上げます。

結びに、ここまで留萌本線を支えてくれた「沿線住民や全国の応援団の皆さんに!」、そして、最後の最後まで石狩沼田駅を支えてくれた駅未来協議会 松尾会長さん、阿部・村上両隊員に心から感謝申し上げ、更に、沢山の物語やみんなの希望を運んでくれた「留萌本線に!」、多くの人にドラマを与え続けてくれた「石狩沼田駅に!」対し、「今日で灯りは消えてしまいますが、私たちの心の灯りはこの先も消えることはなく、皆さんの心の駅として記憶の中でいつまでも走り続けてくれること!」と、町民や全国の応援団の力を借りながら「ここから新たな町の駅「石狩沼田駅物語」が始まること!」を宣言し、心から御礼とお詫びを申し上げ、挨拶といたします。

「ありがとう留萌本線!」そして、「これからも共に歩み・共に未来を創ろう石狩沼田駅」

令和8年3月31日 沼田町長 横山 茂

# 新たな地域交通

# 「きたそライナー号」運行開始！



▲オープニングセレモニーでのテープカット

料金 片道650円  
(沼田観光情報プラザ前から深川駅前・深川市立病院 ※7時半発のみ  
深川西高前まで運行)  
乗車定数 75名(内座席29名)

空知のバスをもっと便利に、もっと身近に  
空知バスナビ

バスの時刻表やルート検索、バス停検索機能で、簡単に空知のバスを利用することができます。

左記QRコードよりアクセスすることができますのでご利用ください。



3月31日(火)をもって廃線となった留萌本線の代替交通として朝夕の時間帯に新設された路線バス「きたそライナー号」の運行が4月1日(水)より開始されました。

新設された沼田深川線は、道北バス(旭川市:松本神一代表取締役会長)に運行を担っていただき、平日・土日の朝夕に各3~4便運行していただきます。

名称は各市町の小・中学生から募集した案を参考に決定し、黄色の車体には深川、秩父別、沼田町のキャラクターが描かれており、親しみやすいバスになっています。

オープニングセレモニーで横山町長は「今日から新たなスタートということで、未長く利用していただき、通学や通院される方の足として定着することを願っています」と挨拶されました。



▲黄色の車体には、3市町のキャラクターが描かれています。

# 令和8年度 町政執行方針概要



## 町長 横山 茂

3月10日に開会された第1回定例会で、横山町長が令和8年度の執行方針について述べました。  
今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

私は「平成」から「令和」に改元された年の統一地方選挙において、町民皆様や各団体の皆様から力強いご支援をいただき町政運営を託していただいていたから、2期8年の最終年度を迎える年となりました。

町民皆さまがいつまでも安心して暮らし続けることができる「住民福祉の増進」を基本とした中で、就任時にまちの将来像を「子どもたちが誇りをもてるふるさと創造沼田町く夢とやさしさにあふれる小さなまちの大きな挑戦」と掲げ策定した「沼田町第6次総合計画」の計画最終年度であり、重点的かつ優先的な取り組みとして掲げた8項目について「第3期沼田町総合戦略」と整合性を図った上で取り組みを強化し、持続可能な

まちづくりにより将来に繋いでまいります。

また、令和8年度は、本町開拓の祖であります「沼田喜三郎翁」のご縁により、富山県小矢部市から伝承をいただいた、「夜高あんどん祭り」が50回目を迎えます。

この大きな節目を契機として北海道を代表する祭りへと、さらに広く認知いただけるよう取り組みとともに、持続可能な運営体制の構築を進めてまいります。

さらに、基幹作物である「米」を道産米のトップブランドへと押し上げた「雪中米」誕生30周年の記念の年でもあります。雪冷熱の活用によるゼロカーボンへの取り組みを一層推進し、「沼田町食料貯蔵流通基地構想」の実現を含め、多方面にわたり施策を深化させながら「将来につなぐまちづくり」に努めてまいります。

### 健康づくりの推進

「第2次沼田町健康増進計画」に基づき、町民一人ひとりが健康的な生活習慣を身につけ主体的に健康づくりに取り組み、いきいきと

自分らしく生活することができるよう、栄養や食生活、運動、こころの健康づくり等の分野ごとの対策に取り組み、自らが健康寿命の延伸を目指し、生活習慣病予防及び重症化予防の徹底が図られるよう、各種健康事業への参加や特定健診、各種がん検診の受診に対し行政ポイントを付与することで受診勧奨に努め、町民皆様の健康意識の向上に努めてまいります。

## ○高齢者福祉・介護の充実

第10期介護保険事業計画（令和9～11年度）の策定に向け、高齢者等へのニーズ調査の実施や必要となる介護サービス量の算定をするとともに、高齢者福祉施設の老朽化や厳しい運営状況を鑑み、住み慣れた地域で「住まい」「医療」「介護」「介護予防」及び「生活支援」を地域内で一体的な体制づくりの指針とする、沼田版CCRC構想策定に要する所要額を予算計上いたしております。

第9期介護保険事業計画の大きな柱の一つである「認知症」の取り組みについては、保健福祉課内

に開設した「認知症相談窓口」を核として、認知症の理解・知識を深める「認知症教室フォーシーズン」を開催し、地域で支え合いながら社会生活を営むことができるまちづくりを推進してまいります。

## ○子育て支援の充実

「第3期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、母子ともに健康で健やかに成長発達ができるよう「妊婦一般健診」や「産前産後安心事業」などと、子育て応援アプリ「ぬまたっこ手帳」を活用し、タイムリーな子育て情報の発信や予防接種AIスケジュールなどICTを活用した専門科医によるオンライン相談などの各種子育て支援事業を展開し、子育て世代のニーズに沿ったサポートに努めてまいります。

沼田認定こども園については、子育て環境充実のための一翼を担っていただいておりますが、配慮を要する園児に対処しきめ細やかな保育体制を継続するため、加配保育士としての役割を担う2名分の人件費を補助することとしてお

ります。また、新たに発達に悩みを抱えるお子様の療育、発達支援を目的とする多機能事業所（児童発達支援、放課後等デイサービス併設）「沼田認定こども園発達支援室ほぷら」の4月開設に向けて準備を進められており、地域での子育て支援の充実に期待を寄せております。

## ○農業の振興

政府は令和9年度からの水田政策を抜本的に見直し、「水田を対象としての支援」から「作物ごとの生産性向上等への支援」へ転換するとして検討を進め、本年6月には具体像を示すとするとともに、本年4月に生産費を考慮した農産物の価格形成に向けた「食料システム法（食品等の持続的な供給を実現するための食品等事業者による事業活動の促進及び食品等の取引の適正化に関する法律）」が施行され、価格交渉の材料となる「コスト指標」の策定も進められておりますが、米の民間在庫については適正水準とされる量を大きく上回るとの予測も示され、基幹作物

である米及び畑作物を巡る情勢は不透明さを増しており、担い手の確保と持続的な地域農業の発展のためセーフティネットの充実も含め、米政策全般における今後の検討推移に注視し、関係機関・団体と連携し必要な対策を進めてまいります。

## ○沼田町食料貯蔵流通加工基地構想について

米の備蓄制度については、現在は全量を政府が保管しておりますが昨年の政府備蓄米売渡しにおける課題の検証を踏まえ、より円滑に供給できるよう民間備蓄の導入、保管期間の短縮を含めた検討が行われており、国が進める「食料安全保障の確立」や「環境負荷低減」には雪冷熱エネルギーを活用した食料貯蔵流通基地の整備が有効であることから、引き続き関係機関・団体と連携し構想の実現に向けて取り組んでまいります。

# 令和8年度 町政執行方針概要

## ○雪中米誕生30周年 記念事業について

本年は、平成8年の「米穀低温貯留乾燥調製施設」の稼働とともに「雪中米」誕生から30年の記念の年を迎えます。

雪中米は、生産者皆様のご努力により、ブランド米として広く認知が高まるとともにふるさと納税の返礼品としても高い信頼と評価を得て、全国に発信する魅力的な返礼品となっており「やっかいもの」であった雪を貴重な財産として米の貯蔵に使う先駆的な取り組みに着眼し、実行された先人の先見性と、関係者皆様のたゆまぬ努力に敬意を表するところであります。

その熱い思いを受け継ぎ、次世代へ伝承し、更なる発展を図るための記念事業に要する所要額を予算計上いたしております。

## ○石狩沼田ブルワリー・ 沼田町ビアキッチンの 取り組みについて

沼田町クラフトビール醸造所「石狩沼田ブルワリー」は、雪中米を副原料としたライスエールを始めとするクラフトビールが好評をいただいております。ふるさと納税の返礼品としての使用を含め、特産品の一つとして、指定管理者と連携し醸造量の増産に向けて取り組んでまいります。

また、「トナリエ北広島」にオープンした「沼田町ビアキッチン」では、クラフトビールなどの本町の農産物等を使ったメニューを提供し、大変好評を得ていることと併せて「オール北海道ポールパーク連携協議会」の取り組みとして「食」と「観光」をテーマに構成市町への誘客を促進する事業を始めなど今後の展開に期待を寄せているところであります。

## ○JR施設の利活用に 向けた検討について

JR留萌本線の廃止に伴い、JR跡地、施設等の利活用に関して、広く町民から意見を聞きながら今後のまちづくりについて検討していくとともに、JRとの土地や建物等の物件の譲渡に関する協議を並行して進めることとし、また、譲渡協議が完了するまでの間、駅舎をJRから無償賃貸することで、何時でも、誰でも思い出深い「駅舎」に出入りすることができ環境を維持することといたしております。

## ○観光の振興

「夜高あんどん祭り」が今年で50回目の節目を迎え、これまでお祭りに携わっていただいた方々や関係者の皆様に感謝の意を込めるとともに、「夜高あんどん祭り」が永きにわたり開催できることを願い記念事業を開催する経費を予算計上いたしております。

また、石狩沼田駅周辺を含めた中心市街地の活性化に取り組んでいただいている「沼田町駅未来協

議会」からJR廃線後の跡地利用についての提言を参考とし、現在の駅舎を「まちの駅」として残していけるよう、JR石狩沼田駅周辺の整備について検討していくこととしておりますが、JRとの施設譲渡に係る協議が始まることから、JR石狩沼田駅舎に観光協会の機能を持たせて観光案内窓口を設置するとともに「沼田町駅未来協議会」の協力のもと「沼ルシエ」の継続開催などにより廃線となった後も駅周辺の賑わいを継続させていくよう取り組んでまいります。

## ○企業誘致の推進

「働く場の確保」は、安定した生活と地域経済の活性化を目指すための重要施策として、企業誘致活動に取り組んできたところであり、これからも時代に即した活動を推進してまいります。

昨年「ハイテクインター株式会社」「旭川工業高等専門学校」及び「沼田町」の3者による産学官連携協定を締結し、旭川高専生徒が地域課題における解決研究の成果報告会を開催したところであります

が、ICTやAI技術を活用した共同研究・開発、実証試験の地として関連企業の誘致を促し、新たな産業、雇用を生み出す「沼田版シリコンバレーLABO構想」の具現化に向けた計画等の策定や関連企業との調整を行い、構想実現へと繋げる人材を国の「地域活性化起業者」制度を活用し、専門知識を有する人材を招聘する所要額を予算計上いたしております。

また、「長期保存おにぎり」の製造、販売を手掛けている企業が、本町への進出に向けて前向きに検討いただいていることから、地域産業の活性化や雇用創出に繋げていくためにも、企業立地促進条例に基づき補助金による支援を含め、たきめ細やかな対応に努めてまいります。

## ○地域公共交通

本町の歴史と共に歩んだJR留萌本線が115年の歴史に終止符を打つこととなり、4月からはバスが主要な公共交通機関となることから、バス事業者や沿線自治体などと協議を重ね、便数の確保や運

行ダイヤの調整など地域住民の利便性を最優先に考え、最大限の調整を図ってきたところであります。

バスの運行体制につきましては、朝晩の新たな路線バスとして「道北バス株式会社」に運行いただくとともに「空知中央バス株式会社」が運行する日中のバス運行につきましては、今後を見据えた中で持続可能なバス運行とするため10月より町が運行主体となる「自家所有償旅客運送バス」とすることで計画しております。

## ○ふるさと住民登録制度について

移住体験者やふるさと納税者、そしてJR留萌本線の廃止を惜しんで訪れる方々など、町に心を寄せてくださる皆様との「縁」を大切に考えており、こうした出会いや一過性の交流を持続可能な町の活力へと変えていくため、「(仮称)ふるさと住民登録制度」の創設を検討することとし、デジタル技術を活用による物理的な距離を超えた「心の定住」を育むことで、多様な形で継続的に関わり応援いた

だけの仲間をつくり、100年後も笑顔が溢れ活力ある町づくりを目指してまいります。

## ○沼田町を応援する沼田ファン交流イベントの実施について

沼田町の応援団として一翼を担っていただいている「東京沼田会」は、会員の減少と高齢化により存続が厳しい状況となっております。こうした状況を踏まえ、様々な形で沼田町を応援いただいた方々や「東京沼田会」の皆様を含む首都圏在住の沼田町出身者の交流の場を設けることによって、沼田町を応援していただける方の輪を広げ、振興発展を図ることを目的に、「(仮称)NUMATAファンクラブ」を設立し、関係人口の創出拡大と深化を図るため「沼田町を応援する沼田ファン交流イベント」を開催いたします。

## ○結びに

人口減少、少子高齢化社会への対応、更には先行きが不安定な国際情勢や円安を起因とした物価上昇に加え、自然災害などへの備え

など厳しい行政運営に加え「次代に繋げる」まちづくりへの深慮は続いておりますが、本年1月に発刊された宝島社「田舎暮らしの本」が発表した「住みたい田舎ベストランキング」人口1万人未満の町のカテゴリーにおいて3年振りとなる全国総合1位の評価を受けたことは、町民皆様と共に沼田町の存続を願い創り上げている移住定住施策など、それぞれの努力が実を結んだものであり、このことは町政運営の励みとなっております。

私の所信である「夢と希望と誇りを持てるまちづくり」の実現に向けて、地域間での「競争」と「共創」を意識し、沼田町の持つ力を信じ、職員と共に「新たな視点」と「新たな創造」をもって「オールぬまた」で挑戦し続ける礎を築くため「細心かつ合理的判断」と「大胆かつ責任ある決断」を持つて将来の沼田町に繋いでまいりますので、町民皆さま並びに議員各位のご支援とご協力を改めてお願い申し上げます。令和8年度の町政執行方針いたします。

# 令和8年度 教育行政執行方針概要



## 教育長 三浦 剛

3月10日に開会された第1回定例会で、三浦教育長が令和8年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

沼田町教育委員会では、中長期的な展望に立ち、教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和14年度までの10年間を計画期間とする「第2期沼田町総合教育計画」に基づき、各種施策を着実に進めているところであります。

沼田学園における一貫・連携教育を本町教育の柱として位置づけ、「ふるさと沼田を愛し、自ら進んでたくましく郷土の発展に寄与する子」を目指す子ども像の実現に向け、教育内容の充実と教育環境の整備に引き続き取り組んでまいります。

○子どもの成長をつなぐ  
「沼田学園」の一貫・  
連携教育

開園9年目を迎える沼田学園については、これまで培ってきた小中一貫・連携教育の成果と課題を踏まえ、「第5期沼田町一貫・連携教育基本計画」に基づきながら、幼児教育との円滑な接続と連続性を確保しつつ、義務教育9年間を見通した系統的な学びの更なる充実を図り、児童生徒一人ひとりの資質・能力の育成に重点を置いてまいります。

本年度においても、小学校への乗り入れ授業や中学校登校日を実施するなど、これまでの取り組みを継続しながら教職員間の連携を一層深めるとともに総合的な学習の時間に位置付ける「沼田学」など、学校と地域が連携・協働しながら、体験的・探求的な学びを通じて子どもたちが主体的に学べるよう教育環境の充実を図ってまいります。

## ○確かな学力の定着と 特色ある学びの充実

全国学力・学習状況調査や標準学力検査等の結果を検証し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を基本に、授業力の向上と授業改善に取り組んでまいります。

また、読解力や語彙力の向上を図るため、学校図書室や家庭における読書活動を推進するとともに、専門職員による外国語教育の充実により、国際社会で活躍できる人材の育成を目指します。

1人1台端末環境を基盤として、日常的・効果的な活用を進めるとともに、授業支援ツールやAI型学習教材の活用により学力向上・個別最適な学び・協働的な学びを引き続き推進します。

## ○沼田ならではの教育と キャリア教育

本町の自然環境を教育資源として位置づけた自然体験授業をはじめ、中学生議会や就業体験、ソクラテスミーティングなどを通じて、郷土理解と社会的自立に向けたキャリア教育を推進します。

## ○国際交流・青少年交流

カナダ・ポートハーデー地区との国際交流、小矢部市との青少年交流、台湾花蓮県瑞穗郷との友好交流を通じ、異文化理解と国際感覚の育成を図ってまいります。

## ○部活動の地域展開と 働き方改革

国の部活動改革の方向性を踏まえ、本年度は、その前段階として部活動指導員（地域指導者）の増員を図り、報酬及び費用弁償にかかる予算措置を講じることで専門性のある指導体制の充実と、教員の負担軽減の両立を目指します。

将来的には、「認定地域クラブ」への移行を視野に、関係団体や保護者、地域の皆様と協議を重ねながら、できることから無理のない形で部活動の地域展開を段階的に進めてまいります。

## ○社会教育の充実と地域 を担う人材の育成

サークル・文化団体の育成や活動支援を通じて自主的な学びと交流の場を広げるとともに、生きがい講座などの充実を図り、町民一人ひとりが生涯にわたって学び続ける環境を整えます。

また、社会教育を単なる余暇活動にとどめることなく、まちづくりに主体的に参画し、地域課題に向き合い行動できる人材育成の基盤として位置づけ、学びと実践を「地域を支える力」へつなげ、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

## ○社会体育の推進と 「ぬまたみらいわくわく アリーナプロジェクト基 本構想」の策定

社会体育の充実を図るため、健康増進と世代間交流を支える環境整備を進めます。老朽化が進む町民体育館については、将来の利用ニーズや財政状況を踏まえ、中学校体育館との複合化も含めて持続可能な施設の在り方を検討し、基本構想・基本計画を策定します。

## ○卓球クラブの誘致と アスリート育成を核と した教育環境の充実

町民の健康増進と子どもたちの体力向上を図る観点から、年齢や経験を問わず少人数でも継続的に取り組むことができるスポーツ環境の整備を進めてまいります。特に卓球は、屋内で年間を通して実施でき、世代間交流にも適した競技であることから、指導体制の充実と活動環境の整備を図り、誰もが気軽に親しめる地域スポーツとしての基盤を築いてまいります。

その中において、卓球クラブの誘致（卓球留学）を進め、アスリートとしての高みを目指しながら、学業との両立を目指す子どもたちが町外からも集う魅力ある教育環境の形成を目指してまいります。

全国から志ある中学生を迎えられることで、学校教育の充実と生徒数の確保を図るとともに、本町の教育力の発信と地域との交流・定住促進など、まちづくりへの波及効果を創出してまいります。

## いつまでも幸せに暮らせるまちづくり

### ■沼田版CCRC構想策定事業【新規】 6,369千円

医療、介護を中心として将来にわたり持続可能なまちづくりの指針となる、全世代が活躍できるための実践的な地域包括ケアの基本構想を策定します。

### ■外科医師派遣事業【新規】 4,800千円

町立沼田厚生クリニックの外科医師が令和7年度をもって退職となることから、外科系医師の確保のため他病院へ派遣を依頼し町民の安心・安全な医療体制の整備を図ります。

### ■こども誰でも通園制度事業【新規】 384千円

「こども誰でも通園制度」は、認定こども園等に通っていないお子さんを対象に、保護者の就労条件を問わずこども園に通園することができる新しい制度です。

## にぎわいのあるまちづくり

### ■沼田町駅未来協議会補助事業

【新規】 1,800千円

JR留萌本線の全線廃止後、「交通空白地」となることを避け、イベントの開催などにより廃線となった後も中心市街地である駅周辺の賑わいを継続させていくとともに、駅をまちづくりの「新たなにぎわいの拠点」と位置づけ、町内外からヒト・モノ・カネ、情報などを引き寄せる戦略的な空間に向けて協議していきます。



### ■観光情報プラザ改修工事【新規】

多くの観光客が利用する観光情報プラザの給排水設備の改修やクーリングスポットとして空調を整備し利用環境の向上を図ります。

### ■教育旅行受入協議会補助金【新規】 300千円

北海道内を中心に小学校、中学校、高校、スポーツチーム等における課外学習及び宿泊を伴う研修プラン調整のサポートを行い沼田町における教育旅行受入の質の向上を目指すとともに、まずは来てもらい、利用してもらうための環境づくりを図ります。

### ■沼田町夜高あんどん祭り50回記念事業【新規】 20,000千円

富山県小矢部市より伝承を受け、昭和52年に第1回沼田町夜高あんどん祭りが開催されて以来、令和8年をもって50回目を迎えることから、節目を祝う事業を実施するため、夜高あんどん実行委員会へ補助金を交付します。

### ■観光協会補助金【新規】 2,680千円

観光協会において、各種催事・イベント等に参加し、観光PR・特産品PRを実施するための費用を補助します。

また、令和8年3月をもってJR留萌本線が廃線となることから、廃止となるJR石狩沼田駅舎を観光協会の拠点施設として整備するための経費を補助します。

### ■沼田版シリコンバレーLAB構想の推進に向けた各種検討・協議【新規】

7,100千円

民間の専門人材を招聘し、構想の具体化や推進計画等の策定に向けた各種検討・協議を行います。

### ■まちづくり支援人材派遣事業【新規】 7,100千円

沼田町の地域産品の販路開拓及び拡大の取組を強化するために民間事業者から専門的な知見を有する人材の招聘をし、沼田町の経済活性化を図ります。

### ■ペット共生住宅整備事業【新規】 3,841千円

多様化する移住ニーズに応えるため、要望の多い「ペットと暮らせる住まい」の整備を進めます。北海学園大学のセルフリノベーション事業と連携し、既存の公営住宅2戸を改修いたします。

### ■雪中米誕生30年記念事業【新規】 600千円

雪中米の誕生とともに雪利用の取組み開始から30年を迎えることから、雪中米及び利雪に関する記念事業を実施し、雪中米ブランドの向上と「雪と共生するまちづくり」の推進を図ります。

### ■水利施設等保全高度化事業【新規】

3,900千円

共成揚水機場において令和6年に機器が故障し用水供給が不能となる事態が発生したことから、用水の安定供給機能を強化するため整備事業の実施を計画しており、機能診断経費をガイドラインに基づき負担します。

### ■米食味分析計購入事業【新規】

23,650千円

米穀低温貯留乾燥調整貯蔵施設で使用している米食味分析計は、平成19年度に導入し稼働から19年を経過し老朽化している状況にあるため機器更新による能力の向上を図ります。

## ■ NUMATA TOMATO TOWN 構想推進事業【新規】

《事業内容》

・加工用トマトおてつ旅導入事業 470 千円

加工用トマトの収穫時期は稲刈りの時期と同じ頃であり、慢性的な人手不足が大きな課題となっていることから、おてつ旅事業を活用し課題の解消を図り、加工用トマト原料確保、関係人口創出拡大、加工用トマト魅力発信を図ります。

・加工用トマト栽培支援事業 600 千円

町民皆さんの家庭菜園でたくさんの加工用トマトを栽培いただくため、畑づくり（床づくり）の支援、栽培技術の指導を行い、加工用トマトの栽培に取り組みやすい環境を整え、家庭菜園事業参加者増加を図り、加工用トマト生産量日本一のまちを町民皆さんと一緒に目指します。

・加工用トマト資材支援事業 450 千円

近年の高温・干ばつ傾向、尻腐れ果多発により加工用トマトの収量が不安定となっていることから多発する尻ぐされ果の予防対策として灌水を実施する生産者に対し、灌水チューブの購入に必要な経費の一部の助成・栽培技術指導を行い収量増加を目指します。

・加工用トマト機械導入事業 26,000 千円

加工用トマト栽培は温暖化・高齢化により収穫作業が大きな負担となっており、現在収穫は手収穫作業が主体となっておりますが、今後面積を拡大し収量増加を図るためには大規模な圃場での栽培が必要となることから、収穫機械・搬送機械の導入を支援し、栽培面積の拡大・収量増加を目指します。

## 希望を育むまちづくり

### ■ ぬまたみらいわくわくアリーナプロジェクト基本構想策定事業【新規】

7,150 千円

老朽化した町民体育館の更新にあたり、単に体育館としての機能のみでなく、子どもたちから大人まで多くの町民が集い世代を超えた交流が生まれる場、また、災害時には避難所としても活用できる複合型体育施設についての意見集約や必要な情報を整理し、基本構想、計画の策定を進めます。

### ■ 沼田町部活動地域展開推進事業【新規】 4,924 千円

国の部活動地域展開方針を受け、沼田町を含む北空知1市5町での取組を推進するため、部活動指導員の設置や、スポーツ指導者の資格取得補助、他市町と合同で行っている部活動場所までの送迎等を実施します。

・部活動指導員報酬	2,302 千円
・部活動指導員費用弁償	417 千円
・部活動送迎委託料	1,068 千円
・公認スポーツ指導者資格取得補助金	400 千円
・バス運行経費	535 千円
・沼田町部活動地域移行推進協議会 委員報酬	173 千円
・沼田町部活動地域移行推進協議会 費用弁償	29 千円

## ■卓球留学準備事業【新規】

年齢や体格、性別などに関係なく、いくつになっても続けられる生涯スポーツ「卓球」は、実績のあるクラブを招聘できれば小さな町でも一流の選手を育成できます。人間力を育てる「卓球留学」に向け、受入れ体制の検討・準備を行います。

## 安心・安全に暮らせるまちづくり

## ■バス転換事業【新規】 198,459千円

JR留萌本線廃止後においても、地域住民の通学・通院や日常生活に必要な移動手段を確保するためのバスの運行を実施し、持続可能な公共交通の確保を図ります。

《事業概要》

- ・利用実態を踏まえた効率的なダイヤの編成
- ・既存バス事業者等への運行委託や運行補助

## ■みんなで創る「ぬまたゼロカーボン」事業【新規】 1,108千円

ゼロカーボンシティ実現のため、町民一人ひとりが主役となり、家庭ごみの分別や光熱水費の削減への理解を深める取り組みを行い、町民生活に無理なく、環境にも暮らしにも優しいまちづくりに取り組みます。

## ■交通事故死ゼロ5,000日達成事業【新規】 563千円

交通事故死ゼロ5000日達成という長期的な交通安全の成果を町民と共有するため、達成記念大会を開催し、今後の交通安全意識の一層の向上を図ります。

## ■防犯カメラ設置事業【新規】 3,800千円

犯罪の未然防止や事故・トラブル発生時の早期解決を目的に、防犯カメラを増設し、町民の安全・安心な生活環境を確保していきます。

- ・防犯カメラ設置 9台

## ■ヒグマ対策事業【新規】 4,185千円

近年、人の生活圏にクマが出没し、町民の安全・安心を脅かす深刻な事態となっていることを踏まえ、緊急銃猟等の捕獲体制を強化し町民の暮らしを守る体制を整備します。

## ■災害用ドローン購入事業【新規】 5,800千円

自然災害、火災現場等の多種多様な災害に備えるために、災害用ドローンを導入し、災害情報収集、人命救助を行い沼田町の防災力を強化します。

## ■安心センター空調設備整備事業【新規】 12,000千円

夏の暑い時期に利用する方が快適に利用していただき、また町民等が危険な暑さを避けるための避難できるクーリングスポットとしての役割を果たせるよう冷房施設をなかみちカフェ周辺に設備いたします。

## ■防災のしおり（ハザードマップ）更新事業【新規】 1,237 千円

現在、各ご家庭にお配りしている「防災のしおり（ハザードマップ）」は、令和2年度に更新したものであり、その後の改正に対応し、日頃から防災への意識付けと災害発生時に適切な行動をとれるよう情報提供に努めます。

## ■除雪任意団体等組織設立検討事業【新規】

これまでの除雪状況の共有と持続可能な除雪体制の構築に必要な取り組みなど、事業者との意見交換により、民間主体による任意団体等組織の設立や支援制度の構築をサポートします。

## 町民とともに作るまちづくり

## ■自治振興協議会『害虫対策プログラム事業』 150 千円

近年多発しているマイマイガなどの害虫駆除を支援するため、自治振興協議会において害虫駆除用の噴霧器及び薬剤を購入し、希望する自治会や個人へ貸し出します。

## その他

## ■沼田町を応援する沼田ファン交流イベント事業【新規】 4,389 千円

ふるさと沼田町の振興発展・認知度向上を目的に「(仮称) NUMATAファンクラブ」を設立し、ファン（関係人口）の増加や、ふるさと納税に繋げるため、町出身者（東京沼田会会員など）やふるさと納税をしていただいた方を対象に、「沼田町を応援する沼田ファン交流イベント」を実施します。

## ■電話音声録音装置導入事業【新規】 2,269 千円

役場庁舎の電話に、発信者に対する録音ガイダンス通知機能と通話の録音機能を追加し、電話受付の効率化とカスタマーハラスメント対策に繋がります。

### 3 12 夢と希望を抱いて新しいステージへ 沼田中学校第58回卒業証書授与式

沼田学園沼田中学校（吉田久校長）の第58回卒業証書授与式が、3月12日（木）執り行われました。

吉田校長から卒業生に向けて「目先の結果だけではなく、失敗から学び挑戦し続けられる人になってください」と話され、最後に卒業生を代表して林ゆずなさんから「3年間楽しく過ごすことができたのは先生方やクラスのおみんなのおかげです。これから新しい環境に向かって努力を惜しまず、一人一人の目標に向かって前に進みます」と挨拶をされ、卒業生15名は3年間の思い出と未来への強い意志を胸に、新しいステージへと羽ばたいていきます。



### 3 16 子ども達の野外活動を後押し 渡部建設がグラウンドの雪割ボランティア

本格的な春の到来を前に渡部建設株式会社（渡部克裕代表取締役社長）が、地域貢献活動の一環として、小中学校グラウンドの雪割ボランティアを行っていただきました。

大型の重機を使用し、子ども達が一日でも早く外で活動できるよう、厚く残る雪を掘り起こしていただきました。



### 3 18 優勝目指して頑張ります 寺木選手フットサル全道大会出場報告

沼田小学校（吉田純一校長）4年生の寺木吾朗さんが3月21日（土）、22日（日）江別市で開催される第2回U-8・U-10フットサルリーグチャンピオンズカップ2026に出場することから3月18日（水）役場を訪れました。

寺木さんは「2回目の全道大会なので、優勝できるように頑張ります」と挨拶され、横山町長は「練習成果を十分に発揮して優勝できるように頑張ってください」と激励されました。



3

19

大きな希望をもち輝く未来へ

## 沼田小学校第116回卒業証書授与式

沼田学園沼田小学校（吉田純一校長）の第116回卒業証書授与式が、3月19日（木）執り行われました。

保護者や在校生が見守る中、卒業生18名は一人ひとり壇上で家族や先生への感謝の気持ちや中学校に向けた決意を話した後、卒業証書を受け取りました。

吉田校長は「卒業証書には皆さんの努力が刻まれています。大きな夢をもって、自分の可能性を信じてこれからも努力し続けてください」と式辞を述べられました。



3

23

活動成果を発表

## 商工業支援員（地域おこし協力隊）活動報告会

商工業の振興による地域の活性化を図るため、企業に所属して活動している商工業支援員（地域おこし協力隊）の活動報告会が3月23日（月）健康福祉総合センターで行われました。

報告会では5社7名の隊員から活動成果や地域への貢献、今後の活動予定について発表がありました。

最後に横山町長は「この素晴らしい取り組みを横のつながりへ広げてさらに良いものにしてほしい」と述べられ、地域の未来に向けた活動に期待を寄せておりました。



4

6

安心安全なまちづくりへ

## 夜高パトロール隊出動式

夜高パトロール隊（石田隆広総隊長）の出動式が4月6日（月）ゆめっくる駐車場で行われました。

今回の街頭啓発は春の全国交通安全運動に合わせて行われ、石田総隊長は「3月に交通事故死ゼロ5,000日を達成しましたがこの継続にゴールはありません。6,000日を目指して、更に気を引き締めて地域安全に努めていきましょう」と挨拶されました。



4

交通事故死ゼロの更なる継続を願う

6

## 令和8年度交通安全祈願祭

沼田町交通安全協会（西尾昌浩会長）が、4月6日（月）沼田神社で交通安全祈願祭を執り行いました。

祈願祭に参列された全員が交通安全のタスキをかけて交通安全と悲惨な交通事故の根絶を祈願され、西尾会長は「3月に交通事故死ゼロ5,000日を達成することができました。これは各団体の交通安全の啓発活動により、町民の皆さまが高い交通安全意識を持ってくださった結果です。これからも変わらぬご協力をお願いいたします」と感謝とともに更なる安全への決意を述べられました。



4

読書で広がる新しい世界

6

## 役場主婦の会が図書カードを寄贈

役場主婦の会（横山美紀子会長）役員が4月6日（月）に沼田小学校（内藤竜治校長）を訪れ、春から沼田小学校に通う児童へ図書カードを寄贈しました。

役場主婦の会が地域貢献活動の一環として長年行っているもので、横山会長は図書カードを手渡し「児童たちが安心して学校生活を送れるようによろしく願いいたします」と挨拶されました。



4

デイサービスセンター利用者から

6

## 沼田小学校に雑巾を寄贈していただきました

デイサービスセンターの利用者から、4月6日（月）沼田小学校（内藤竜治校長）へ雑巾30枚が寄贈されました。

児童たちの学校生活に役立ててほしいと雑巾を寄贈され、利用者を代表して廣田キサ子さん、石田ミヨさん、金井正義さんが小学校を訪れ、内藤校長に雑巾を手渡されました。



4

楽しく学び、楽しく遊ぶ

7

## 沼田小学校入学式

沼田学園沼田小学校（内藤竜治校長）入学式が4月7日（火）に行われ、13名の児童が保護者や在校生が見守るなか、6年生と手をつなぎ元気いっぱいの笑顔で入場しました。

内藤校長は「これから小学校生活が始まりますが、かしこく、仲良く、たくましくの3つを大切に生活して楽しく学び、遊び、一緒に成長していきましょう」と1年生に声をかけられました。



4

安心、安全な登校を

7

## 防犯協会沼田支部が文房具を寄贈

沼田町防犯協会沼田支部（石田隆広支部長）が、4月7日（火）に行われた沼田小学校入学式後に新1年生13名へ鉛筆、消しゴムなどの文房具とトートバッグをプレゼントしました。

プレゼントした文房具には、事件・事故に巻き込まれないために防犯標語である「いかのおすし」や交通ルールがイラスト付きで分かりやすく記載されており、石田支部長は「安心、安全に登校できるように「いかのおすし」に気を付けて毎日元気に学校に登校してください」と話されました。



4

自分の可能性を広げる3年間に

7

## 沼田中学校入学式

沼田学園沼田中学校（吉田久校長）入学式が4月7日（火）に行われ、新入学生17名は制服に身をまとい、保護者や上級生に見守られながら会場へ入場しました。

吉田校長は新入学生に「失敗を恐れず、自分を信じて夢と進路に向かって一步一步力強く歩いて行ってください」と話され、新入生を代表して細川菜椰ほそかわまやさんは「中学生という自覚と責任をもって一生懸命最後までやり抜きます。先生、先輩方には迷惑をかけることがあるかもしれませんが、時には、厳しく、優しく私たちを導いてください」と力強く挨拶されました。



4

8

大回転・回転で全国5位入賞

## 全日本ジュニアスキー選手権大会出場報告

沼田中学校（吉田久校長）1年生の伊藤千咲さん<sup>いとうちえみ</sup>が3月24日（火）から29日（日）に上士幌町で開催されたJOCジュニアオリンピックカップに出場し、回転、大回転で全国5位に入賞しました。

伊藤さんは「今年は完走して5位に入賞することができて良かったです」と挨拶され、横山町長は「5位入賞おめでとうございます。来年に向けて技術を向上させて優勝できるように頑張ってください」と激励されました。



## 広進工業株式会社から 沼田町へ寄附をいただきました

夜高あんどん祭り50回事業や子ども達へのスポーツ振興事業発展のため、広進工業株式会社<sup>ひろのたつや</sup>の廣野辰也代表取締役から沼田町へ寄附をいただきました。

横山町長は、「この度のご厚意、心より感謝申し上げます。夜高あんどん祭り50回事業と子ども達のスポーツ振興に使わせていただき、より良いまちづくりを進めてまいります」とお礼の言葉を述べられました。



## 公平委員を退任された田島氏に感謝状を贈呈

長年にわたり公平委員としてご活躍された<sup>たじまひろゆき</sup>田島博幸氏（沼田4）に町長より感謝状が手渡されました。

田島氏は平成20年9月から17年6カ月、また令和2年からは委員長としてご活躍いただき、横山町長は「長年のご尽力に感謝いたします。今後も行政運営へのご協力お願いいたします」と話されました。



# ようこそ！沼田町へ

深川警察署沼田警察庁舎所長に

なかにし

たかし

中西 孝志氏が就任

安全で住みよい沼田町に



本年4月1日付けで旭川方面深川警察署沼田警察庁舎所長に就任しました中西でございます。

どうぞよろしくお願いたします。

出身は旭川で、昭和62年に北海道警察に入り、深川警察署を振り出しに、札幌、函館、旭川、釧路、帯広、北見、弟子屈といった地域で勤務し、今回、38年振りに再度、深川警察署に異動となり、沼田警察庁舎勤務が17か所目の配属となります。

沼田町では、多数の渡り鳥が飛来する風景や美しい星空など、自然の豊かさを実感しながら勤務することを楽しみにしています。

趣味はジョギング、ランニングで夏場は、自然と触れ合いながら外ランニングを行い、雪の多い冬期間は、設備の整った暮らしの安心センター内

のトレーニングルームを使わせていただき、体力増進に努めたいと考えております。

着任して間もないですが、沼田町の地域の方々が、交通安全運動や防犯活動に力を入れ、皆さまが町を大切に思っていることを実感し、とても頼もしく感じております。

これまで培ってきた、安全で住みよい沼田町が続くよう、沼田警察庁舎勤務員が一丸となって、各種犯罪の被害防止や交通事故の抑止などに取り組んでまいりますので、町民の皆様には、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の着任のご挨拶とさせていただきます。



# 新たな診療体制に！ 齋藤院長が就任

さいとう よしのり  
齋藤 義徳 院長



略歴  
昭和61年 3月 旭川医科大学卒業  
昭和61年 5月 旭川医科大学第三内科入局  
(旭川医科大学病院)  
昭和62年 4月 旭川厚生病院 内科研修医  
昭和63年 4月 国立療養所道北病院 内科医師  
平成 2年 4月 旭川医科大学 第一病理学講座  
平成 8年 4月 医療法人社団はらだ病院 医師  
平成 9年 4月 遠軽厚生病院 内科医師  
平成12年 4月 医療法人中島病院 医師  
平成15年10月 旭川厚生病院 消化器科医師  
専 門 消化器内科 (特に肝臓内科)  
趣 味 ゴルフ、旅行

このたび、町立沼田厚生クリニックの院長に就任いたしました。地域の皆様に支えられてきた歴史あるクリニックの院長という重責を担うこととなり、大きな責任とともに身の引き締まる思いであります。

沼田町にお住まいの皆さまが、安心して医療を受けられる環境を守り続けることは、私たちの最も大切な使命です。地域医療を取り巻く環境は年々変化しておりますが、どのような時代であっても「地域の皆さまの健康と暮らしを支えるクリニック」であり続けることを目標に、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

また、患者さんお一人おひとりの声に耳を傾け、思いやりのある医療の提供に努めてまいります。地域の皆さまに信頼され、気軽に相談できるクリニックであり続けられるよう、医療の質の向上と安全で暖かい医療環境作りに努めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 外科に医師応援派遣として、旭川市大雪病院から にしだやすひろ 西田恭博医師が派遣

鳥本院長の退職に伴い、常勤の外科医が不在となることから後任として、旭川市大雪病院から整形外科専門医の西田恭博医師が毎週第2・4金曜日の午前9時から11時半（予約制）診療することとなりました。



この度、ご縁がありまして沼田町の医療に携われることになりました西田です。生まれ育ちは深川市一已です。以前から、生まれ育った北空知の皆さんに恩返しが出来ればと思っておりましたが、今回このような機会に恵まれ嬉しく思っています。関節の痛み、打ち身捻挫など怪我でお困りの方は遠慮せず受診してください。

※外科については4月24日（金）から開始となります。

◆お問合せ先 保健福祉課健康グループ

☎35-2120

# 沼田小学校

ないとう りゅうじ  
**内藤 竜治** 校長



出身地：札幌市  
趣味：ウォーキング、登山  
前任校：秩父別中学校  
抱負：伝統を大切にしながら地域と連携した温かい学校づくりに努めてまいります。

うちの まこと  
**内野 信** 教諭



出身地：遠軽町  
趣味：楽器（チューバ演奏）  
前任校：新十津川小学校  
抱負：精一杯頑張ります！

わたなべ ゆう  
**渡辺 優生** 教諭



出身地：沼田町  
趣味：バスケットボール、温泉  
卒業校：北海道教育大学札幌校  
抱負：子どもとともに成長していきたいです

よしだ さほ  
**吉田 沙穂** 教諭



出身地：北広島市  
趣味：お菓子作り、ピース細工  
前任校：芦別小学校  
抱負：授業や子ども達との関わり、行事等、何事も全力投球したいと思います！

いたくら みすず  
**板倉 美鈴** 教諭



出身地：稚内市  
趣味：アウトドア全般、スポーツ観戦  
抱負：子ども達とのつながりを大切に毎日を過ごしていきたいです。

きむらりの  
**木村 梨乃** 養護教諭



出身地：札幌市  
趣味：編み物  
前任校：弘前大学  
抱負：子ども達が安心して学校生活を送れるよう頑張ります。

しらはた みゆき  
**白幡 美幸** 事務職員



出身地：苫小牧市  
趣味：バスケ、キャンプ  
前職：深川めぐみ幼稚園  
抱負：事務職は初めてですが、一生懸命頑張ります。

やまさき りか  
**山崎 里香** 支援員



出身地：兵庫県  
趣味：スポーツ観戦、音楽鑑賞  
卒業校：兵庫県立福崎高校  
抱負：毎日、笑顔で元気に児童の皆さんと過ごしたいです。

# 沼田中学校

ささ のりあき  
**佐々 謙彰** 教頭



出身地：札幌市  
趣味：旅行、スポーツ観戦  
前任校：岩見沢市立豊中中学校  
抱負：あんどん祭りで力になれるように頑張ります。

くにした なおひろ  
**國下 直大** 教諭



出身地：大阪府  
趣味：バスケットボール、映画  
前任校：浦河町立荻伏中学校  
抱負：日々の積み重ねを大切に、自己成長に繋がっていきたくです。

みなみ たみお  
**南 民雄** 教諭



出身地：稚内市  
趣味：スノーボード  
前職：ネイバル砂川  
抱負：挑戦し続けていく姿勢でやっていきます

たかだ ゆみ  
**高田 裕美** 教諭



出身地：伊達市  
趣味：音楽鑑賞、ドライブ、カラオケ  
前任校：一已中学校  
抱負：沼田の子ども達のためにできることを精一杯やらせていただきます。

おくやま あや  
**奥山 亜弥** 養護教諭



出身地：旭川市  
趣味：料理、ドラマを見ること  
卒業校：茨城大学  
抱負：精一杯頑張ります。

4月から沼田小学校に8名、沼田中学校に5名の新しい先生が着任いたしましたので紹介いたします。

# 新規採用職員の紹介

4月から沼田町の職員として働いている職員8名、地域おこし協力隊4名の皆さんを紹介いたします。

## 沼田町職員

かわい ゆうま  
**河合 悠真**



所属：農業推進課  
出身地：東京都  
趣味：料理、釣り、その他多数  
抱負：大学生の頃に何度もお世話になった沼田町に出来る限り多くの恩返しがしたいです！

ごとう りりは  
**後藤 梨里葉**



所属：総務財政課  
出身地：深川市  
趣味：コスメ集め、フルーツ  
抱負：沼田町で働けることを嬉しく思っています。一日でも早く業務に慣れて、皆様のお役に立てるよう精一杯努力してまいります。

むかい ゆうじ  
**向井 雄二**



所属：建設課  
出身地：深川市  
趣味：スキー、DIY  
抱負：民間での経験を活かし、沼田町に貢献してまいります。

みやわき えり  
**宮脇 衣李**



所属：教育委員会教育課  
出身地：沼田町  
趣味：木工、ゲームをやること、見ること、作ること  
抱負：初めてのことだらけですが、たくさん学び、楽しみながら頑張っています。

こいずみ こうた  
**小泉 宏太**



所属：深川地区消防組合沼田支署  
出身地：札幌市  
趣味：サウナ、サッカー  
抱負：町民の方に安心してもらえるように日々、全力で頑張ります。

まくち かいと  
**菊地 海斗**



所属：深川地区消防組合沼田支署  
出身地：旭川市  
趣味：サッカー、フットサル  
抱負：1日でも早く仕事を覚えて、沼田町に貢献できるよう努力してまいります。

つちや ひなた  
**土屋 陽**



所属：深川地区消防組合沼田支署  
出身地：芽室町  
趣味：サッカー、ドライブ  
抱負：町民の皆さまから信頼される消防士になれるよう全力で頑張ります。

なかた りょうか  
**中田 凌楓**



所属：産業創出課  
(北海道職員派遣職員)  
出身地：日高町  
趣味：歌うこと  
抱負：早く皆様のお役に立てるよう頑張ります！ よろしくお祈りします！

# 地域おこし協力隊

## FINKA AULIYA PUTRI RAHMADHANI フィンカ アウリヤ プトリ ラハマダニさん

インドネシアの東ランブン出身のフィンカ アウリヤ プトリ ラハマダニさんは、養護老人ホーム和風園で介護サポート員として活動しています。

趣味は、踊ること、日本でやってみたいことは、大雪山に登山することです。

利用者さんに笑顔で接して、たくさん「ありがとう」と言ってもらえるように早く仕事を覚えて頑張ります。



## ANITA APRILIYANA BELA SUSWITA アニタ アプリリヤナ ベラ ススウィタさん

インドネシアの中部ランブン出身のアニタ アプリリアナ ベラ ススウィタさんは、養護老人ホーム和風園で介護サポート員として活動しています。

趣味は、歌うこと、日本でやってみたいことは、ぜるぶの丘に行くことです。

利用者さんの笑顔を見ると嬉しいので、早く仕事を覚えたいです。



## DORA VEBIOLA ドラ ベビオラさん

インドネシアのギリケロポムルヨ ランブン出身のドラ ベビオラさんは、特別養護老人ホーム旭寿園で介護サポート員として活動しています。

趣味は、料理をすること、日本でやってみたいことは、旭山動物園に行くことです。

利用者さんと一緒に笑いながら、楽しんで仕事をしたいです。



## ERA YUMITA エラ ユミタさん

インドネシアの東ランブン出身のエラ ユミタさんは、特別養護老人ホーム旭寿園で介護サポート員として活動しています。

趣味は、料理をすること、日本でやってみたいことは、スキーをすることです。

利用者さんが笑顔で幸せに暮らせるように、たくさんお話しして信頼関係を築きたいです。



## 公平委員に鈴木一稔氏を任命しました

3月10日（木）に開会された定例議会において、公平委員に鈴木一稔氏（東予）が任命され、横山町長から委嘱状を交付いたしました。

横山町長は「行政運営のため、どうぞよろしくお願いいたします」と話されました。

任期は令和12年3月26日までの4年間です。



## 身体障がい者相談員に沼田晴子氏 知的障がい者相談員に込山綾乃氏を任命しました

町内在住の身体や知的に障がいのある方への相談に応じ、障がい者の方の社会参加に関する活動などへの協力を行う、身体障がい者相談員に沼田晴子氏（市内4）、知的障がい者相談員に込山綾乃氏（共成）に委嘱状を交付いたしました。

横山町長は「町民が誰しも安心して暮らせる環境づくりにご協力お願いいたします」と話されました。

任期は令和10年3月31日までの2年間です。



## 更なる地域活性化のために 地域活性化起業人を委嘱しました

総務省の地域活性化起業人制度を活用して株式会社インサイト（東京都港区：浅井一代表取締役）から地域活性化支援員として橋浦洸太さん、Compassionate Nexus合同会社（京都府：浦田有佳里代表社員）からシリコンバレー構想推進アドバイザーに阿部裕樹さんの2名へ委嘱状を交付しました。

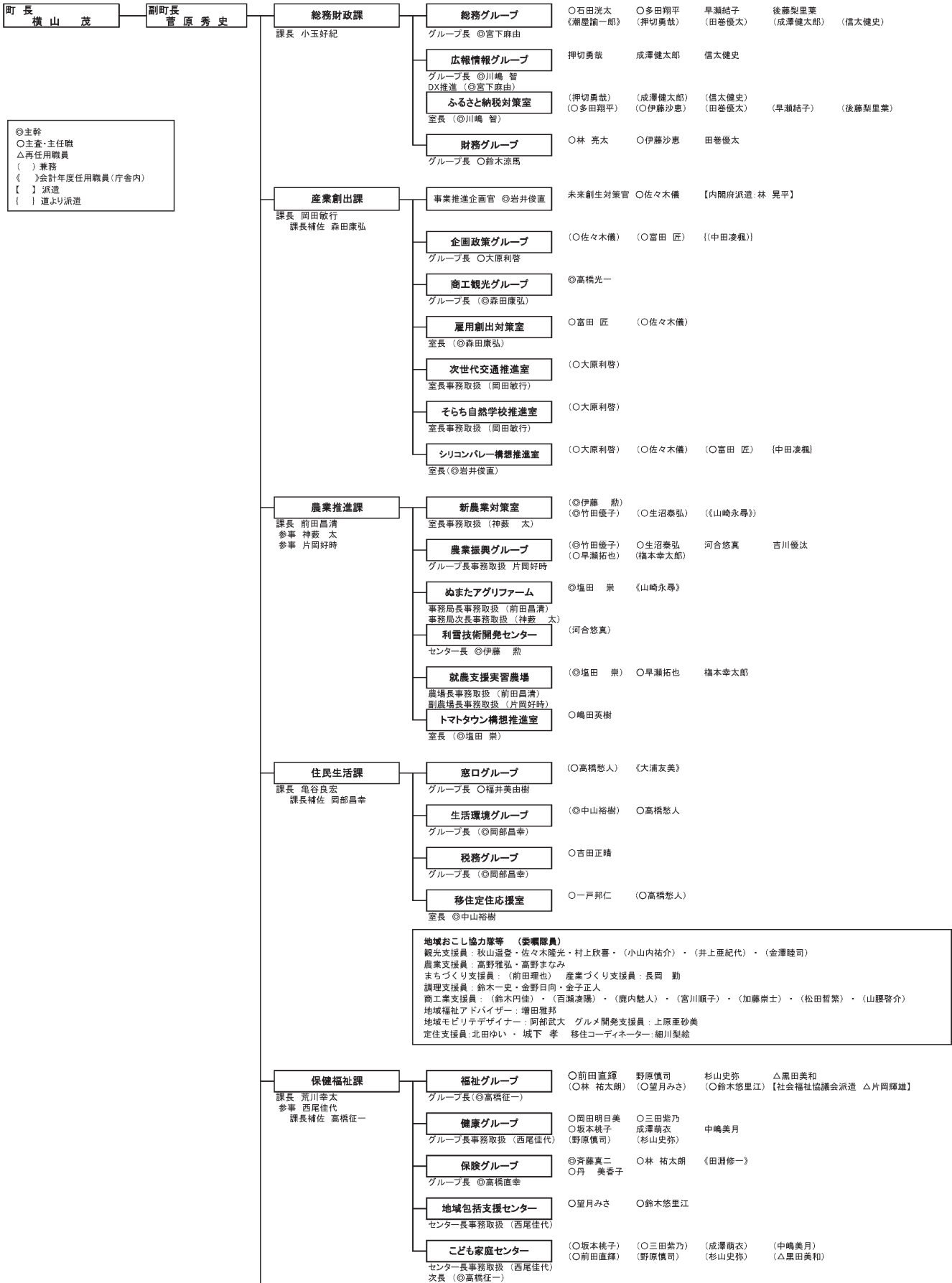
橋浦さんは株式会社まちづくりぬまたで沼田町のシティープロモーションなどを行い更なる地域活性化を図り、阿部さんは産業創出課で「沼田版シリコンバレーLABO構想」の実現などについて支援していただきます。

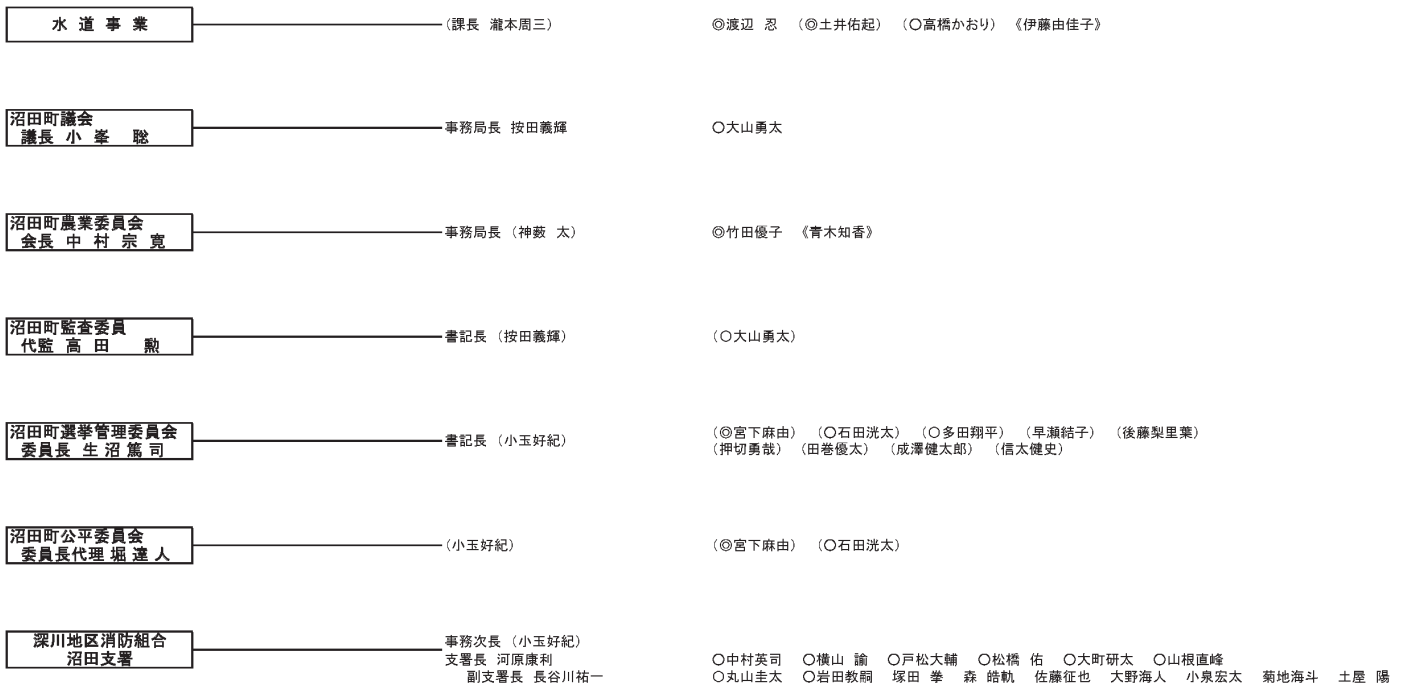
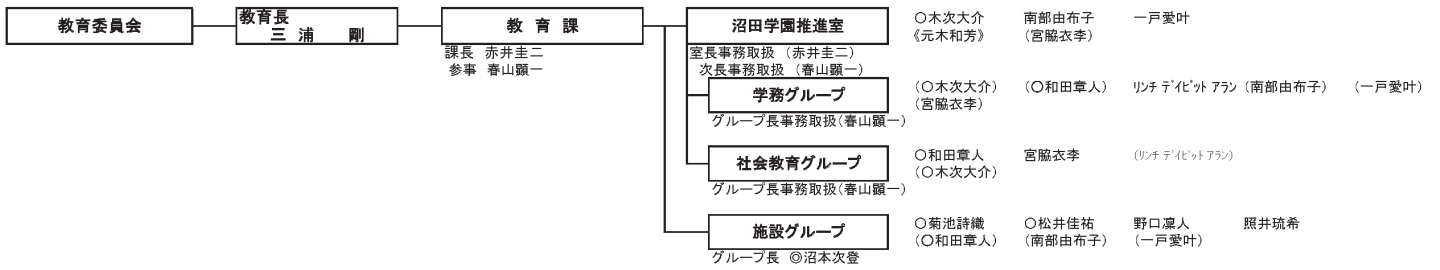
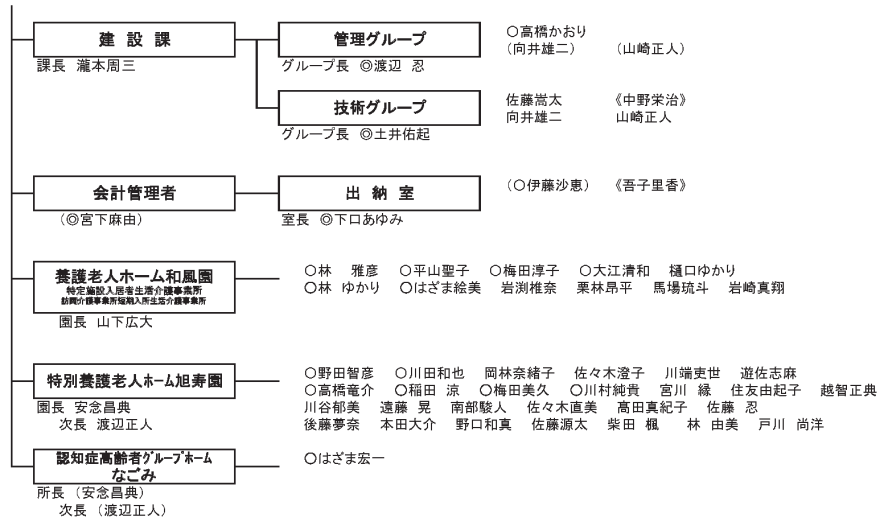


▲橋浦洸太さん（左）と阿部裕樹さん（中）

# 沼田町機構図

令和8年4月1日現在





※拡大した機構図をお求めの方は、総務財政課までお問合せください。

# ふるさと創造懇談会

ふるさと創造懇談会を3月25日（水）、26日（木）、27日（金）の3日間、町内3カ所で開催いたしました。

今回の広報では、当日お受けしました質問を中心に内容を掲載させていただきます。なお更に詳しい説明を聞きたい方は役場総務財政課までお問合せいただけますと、担当者にお繋ぎいたしますので、お気軽にお問合せください。



## 「まちづくりハンドブック」について

ページで

農業、産業、子育てなど項目別に事業内容を記載しております。また、担当部署も電話番号と併せて掲載しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

## 「新しい交通体系について」

今月末をもって運行を終了するJRに替わり、4月1日よりバスが沼田・深川間を結ぶ「新たな交通手段」として運行することとなりますが、速達性を重視するとともに、朝方の一つの便のみ深川西高校を終着とする直通便に加えて、旭川・札幌方面へのJRとの接続性にも配慮してバス事業者3者と調整を図ったうえで、バスの時刻表を作成いたしました。

運行するバスに関しては、本町からJR深川駅までを朝夕、夜間、速達便として乗車時間を極力短縮した中で運行される「道北バス」と、定期券をお持ちの学生用として、JR深川駅まで運行される「明日萌観光バス」、そして深川市立病院発着として日中運行する「空知中央バス」の3事業者によ

り、平日19便、土日祝日13便が運行されることとなります。

## 「NUMATA TOMATO」

TOWN構想加工トマト  
作付奨励・支援事業について

本町の特産品である「トマトジュース」や「ケチャップ」は、多くの消費者から好評を得ており、「加工用トマト生産量日本一」を目指し、トマトを入口に町づくりを図る「NUMATA TOMATO TOWN構想」を進めておりますが、近年は気候の変化などにより収量が減少しており、翌年の製造までにおいて欠品が生じる状況となっております。

原料である「加工用トマト」の確保を図るため、令和8年度から、新たな作付奨励事業や栽培支援、また、これまでの事業の拡充を実施いたしますので、少ない本数からでも結構ですので、加工用トマトの栽培にご協力をお願いいたします。

まず、家庭菜園での栽培についてですが、新たに二つの奨励・支援事業に取り組みます。

作付奨励事業ですが、出荷いただいたトマトは1キロ・40円（税込）で買い取りとなりますが、新たな奨励事業として、出荷1キロにつき3円を買入額とは別に交付

させていただきますとしました。

次に栽培支援として、現在、各ご家庭の家庭菜園にて加工用トマトを栽培いただいておりますが、春先の「畑おこし・畝たて・マルチ張り」といった作業が大きな負担になっていることから、加工用トマトの畑の「床づくり」を町で作業・経費負担を行い、新たに支援させていただきますこととしました。

床づくり前の肥料の準備・散布、また栽培管理・収穫はこれまでどおり皆さんで行っていただきます。収穫したトマトは、コーミ北のほたるファクトリーにて、日にちを決めて集荷いたします。

お友達と一緒に楽しみながら栽培をしている方もいらっしゃると思いますので、10本・20本といった本数からでもご協力をお願いいたします。

農業者向けの新規事業ですが、秋のトマト出荷は、ピーク時期が集中してしまいがちですが、出荷を出るだけ平準化するため、ピーク時期より早く出荷いただいた加工用トマトについては、出荷奨励金に1キロ当たり3円を「早出し奨励金」として上積みして交付させていただきます。

また、トマト栽培において「尻ぐされ」が発生する場合がありますが、要因の一つとして水不足に

より土中のカルシウムをうまく吸収できない事が言われており、収量減少に繋がってしまうことから、新たに灌水チューブの購入費助成を行ないます。

次に、拡充事業として「作付奨励金の増額」についてですが、これまで買入単価とは別に、1キロ当たり3円の奨励金を出荷量に応じて交付しておりましたが、令和8年度から1キロ当たり7円の増額を行い10円といたします。

また人手不足対策として【おてつ旅】という【お手伝い】と【旅】を楽しみながら、収穫に従事いただく人と生産者を繋ぎ、費用の一部を助成する事業や人手不足や身体的負担などの課題を解決し、栽培面積・収量の増加を図る「加工用トマトの収穫機械導入」にも新たに取り組むこととしています。今年、栽培するか分からないけど、ご興味がある・ちょっと聞いてみたい方がいらつしやいましたら農業推進課までご連絡ください。

### 資源ごみ回収強化について

沼田町が進めている「ゼロカーボン」に向けて今年度強化する「資源ごみの回収」についてお話しさせていただきます。

現在、沼田町ではごみ処理費用として、毎年4800万円以上の

処理費用を支払っており、非常に大きな負担となっております。

一番多いのは「燃えるゴミ」で年間約400トンにのぼりますが、実はこの中には本来リサイクルできる「雑紙」が約2割も含まれています。

この「雑紙」を分別することで、町にも住民の皆様にも3つの大きなメリットが生まれます。1つ目は、ゴミを減らすことで処理費用を抑えられることです。2つ目は、分けた資源を売却することで町の「収入」に変えられます。3つ目は町民の皆さんが使用するゴミ袋を減らすことができます。

まずは「雑紙」と言われるお菓子の箱や封筒、包装紙など、身近な紙のほとんどが、資源になります。これらを紙袋に入れたり、ヒモで縛ったりするだけで燃えるゴミが減ることになります。また、缶詰の缶なども、サツと洗うだけで、燃えないゴミではなく、資源ゴミとして回収することが可能です。

この取組を町民の皆様が無理せず取り組めるようにするため、資源ごみをお持ちいただけると「NumaCaポイント」お渡しする「もっと！ぬまたりサイクル大作戦」という事業を始めます。皆様一人ひとりのちよっとした

行動が、ゼロカーボン実現に向けた大きな一歩となりますので、無理のない範囲で、ご協力をお願いいたします。

### 沼田厚生クリニックの診療体制について

沼田厚生クリニックの院長である鳥本医師が定年退職となるため、令和8年度から新たな診療体制となります。

鳥本院長の後任として旭川厚生病院の消化器内科に勤務されている斎藤義徳さいてんよしのり医師を院長に迎え、兼村医師と2名体制で内科の診療に当たっていただきます。

外科につきましては、旭川大雪病院から応援派遣として西田恭博にしだやすひろ医師に毎月第2・4金曜日の午前中に診療していただきます。皮膚科・リハビリについては変更ございません。

町としてこれからも沼田厚生クリニックと連携し、引き続き町民の皆様にとって安心・安全な医療体制が図れるよう務めていきます。

また、昨年12月から3月までの間、町社会福祉協議会が実証実験として取り組んでおりました福祉有償車両の運行が4月より本格運行となります。



運行体制が月曜日から土曜日となり、ご自分で公共交通機関を利用できない方を対象に自宅から深川市立病院の間を送迎いたします。実施主体は、町社会福祉協議会になりますので、詳しくは、町社会福祉協議会にお問い合わせください。

## 「めまたみらいわくわく アリーナプロジェクト」の 検討について

老朽化が進む体育施設の今後についてですが、町民体育館は一般の方にご利用いただっており、主に定期利用団体が利用しています。現状築50年以上が経過しており、町民体育館、中学校の体育館共に老朽化が進み、健全度や耐震指標が低くなっていることから、優先的に改修することが望ましいとされています。

まずは、住民や各団体の意見を幅広く聴取するために話し合いの場を設けて、建設の可否も含めて将来の体育施設のあり方について話し合い、基本方針をまとめます。その後基本構想・基本計画の策定作業を進めていきます。

事業費、施設の規模、建築場所、利用方法なども含めて皆様と検討しながら進めていきたいと思っています。

## 「部活動地域展開の 推進について」

部活動の地域展開についてですが、少子化により全国的に部活動の地域展開が進められていることや学校では教員数の減少、専門的に指導できる教員が少なくなってきたおり、このままでは部活動の継続が難しくなるため、学校、地

域（各団体）、教育委員会が連携しながら地域指導者を育成するなど検討を進めています。

沼田中では、卓球部以外は合同で部活動を行っており、近隣の中学校でも生徒数が減って部活動の選択肢も限られていることから、合同で部活動を行なっている中学校がほとんどになっています。

このような状況を踏まえて、子ども達のスポーツ環境、文化環境を守っていくために教育行政が責任を持って部活動の改革を進めて行きたいと考えています。令和8年度は、地域で指導できる方を部活動指導員として依頼していき、専門性や経験を活かした指導者、そして地域指導者の育成をしていきます。

子ども達の部活動を守るためには、町民皆様に参加していただき、持続可能な環境を作っていくかなければなりませんので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、部活動の地域展開とあわせて、卓球留学を進めていきます。連携協定を結んでいる札幌国際大学と協力して卓球の名門クラブを全国から誘致して、中学生、小学生、沼田の子ども達も含めて卓球の練習を沼田町で行います。この卓球クラブ誘致によって、

高校・大学との連携の道を探りながら子ども達が活躍できる環境を作っていきます。

またこの卓球留学が北海道の地域クラブのモデルになれるよう体制を作っていきたいと考えています。子ども達がそこで活躍することによって人材育成にも繋がり、それが地域で循環していくようなシステムを構築することを目指しています。

## 「主な質問」

Q 加工用トマトの苗は何本からでももらえるのか？

A 何本からでも可能です。また少ない本数でもマルチ作業は行います。

Q 福祉有償車両は一定の期間だけの利用もできるのか？

A 事前申請が必要ですが、利用する方によって柔軟に対応させていただきます。

Q 子どもが減少傾向である。町として増やすための施策はあるのか？また、障がいを持つ子どもが増えていると聞か

が、その子への対応や町外から受け入れる案はあるのか？

A 令和8年度から「沼田認定子ども園発達支援室ほぷら」を沼田保育園で開設します。ここでは子どものケアや保護者のサポートを行いません。

Q 部活動で合同活動をしていく中で市町村間の対応に差がないようしてほしい。

A 北空知で助成金や送迎など同じ支援、サポートができるよう協議を進めていきます。

Q 友好交流協定を締結した台湾瑞穂郷との進展は？

A 令和7年に台湾瑞穂郷を訪問しました。町としては雪を見てもらったり、太鼓などの文化交流を視野に入れていきます。

Q バス転換後、通勤での定期利用は把握しているか？また通勤者への何らかの支援は考えているのか？

A 正確な数字を抑えていませんが、JRからは数名程度と聞いています。高校生以外は、JRに申請していただき補助されます。また、町としては町外に通勤している方に通勤手当の補助金があります。



## 春はヒグマとの遭遇に注意！

1. ヒグマ出没情報を確認する。  
自治体のホームページや新聞、テレビなどでヒグマの出没情報を確認しましょう。
2. 複数で行動する。  
ヒグマから身を守るには複数人で行動し、熊撃退スプレーを持つようにしましょう。
3. ふんや足跡を見つけたら、すぐに引き返す。  
熊の糞や足跡、畑の農作物や草木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返しましょう。
4. 食べものは必ず持ち帰る。  
ヒグマは、いったん人間の食べ物の味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没します。山中に生ゴミを放置したり、埋めたりしないようにしましょう。
5. もしもヒグマと遭遇した場合  
騒いだり、リュックや持ち物を回収せず、背中を見せないように、ゆっくりと静かに立ち去りましょう。



## 山菜採りは目先の収穫よりも安全第一

1. 行き先や帰宅予定時間を家族等に伝える。  
行き先が分からないと、遭難したときに捜索範囲を絞れず、救助活動に時間がかかります。
2. 慣れた山でも油断しない。  
慣れた山でも油断せず、自分の体力や体調、天候や日没時間に合わせた行動をしましょう。
3. 単独入山を避ける。  
万が一、山中で迷ったり、けがをした場合、一人では対処できないことがあるので、複数で行動しましょう。
4. 目立つ色の服装を着用する。  
遭難者をヘリコプターが上空から捜索する場合、赤色や白色系の服装が目立ちます。
5. 携帯電話やホイッスルを携帯する。  
携帯電話は、非常時に救助要請することができます。ホイッスルは周囲に自分の存在を知らせることができます。



## 犯罪の発生状況 (令和8年3月末現在)

町内における犯罪件数

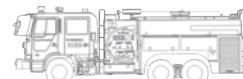
	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	わいせつ犯	その他	合計
令和7年	1	0	0	0	0	1
令和8年	0	0	0	0	0	0

## 交通事故の発生状況 (令和8年3月末現在)

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
令和7年	0	令和7年	15
令和8年	1	令和8年	7

詐欺電話が来たら、「#9110」まで、ご相談ください。



## 林野火災注意報・警報の運用開始について！！

昨年大船渡市で発生した大規模な林野火災を踏まえ、全国的に林野火災予防の対策がとられ、令和8年4月1日より一定の気象条件に達したときに「林野火災注意報」や「林野火災警報」を発令します。

発令中は、発令の対象となる区域内において、たき火、火入れ、喫煙などの「火の使用」に制限を設けました。

### 【発令中の火の使用制限】

- ・林野火災注意報：対象区域において「火の使用」が制限され、努力義務が課されます。
- ・林野火災警報：対象区域において「火の使用」が禁止され、義務が課されます。

(罰則の適用有り)

### 【対象期間】

- ・毎年3月～6月（令和8年は4月～6月）

### 【発令の対象地区】

- ・町内の国有林、道有林、市町村有林および私有林などの一般民有林

### 【発令時の周知方法】

- ・林野火災注意報発令時は、沼田町公式ホームページに掲載し町民の皆様にお知らせします。
- ・林野火災警報発令時は、上記に加えて消防車による車両広報でお知らせします。



林野火災は人命や森林資源に甚大な被害を及ぼします。火の取り扱いには年間を通じて注意を払い、火災発生防止に努めましょう。

## 消防協力者（水利除雪）感謝状贈呈式について

消防協力者感謝状贈呈式が令和8年3月6日（金）に深川地区消防組合消防本部にて執り行われ、長年防火水槽の除雪にご尽力いただいた上林文雄氏（市内3）へ深川地区消防組合小林消防長より感謝状が贈呈されました。

この表彰は消防行政に対し功労のあった個人及び団体に贈られ、毎年消防記念日である3月7日に行われます。



沼田町  
防火標語

『火の用心 「後で」と「今」で 変わる未来』

火事・救急は119番へ！



# 令和8年度 社会教育・体育振興事業のご紹介

生涯  
学習

ゆめ  
つくる

沼田町教育委員会では町民の皆様の生涯学習推進や健康維持・スポーツの普及のために様々な事業を行っております。今回は今年度の事業予定を一挙にご紹介します。

※下記日程は現段階での予定ですので、変更する可能性があります。

## 【4月～6月】



5/ 1 (金) ～おはようラジオ体操  
5/ 9 (土) ～長靴レンジャー (全10回)  
5/27 (水) ～いきいき大学 (全5回)  
6/ 5 (金) 沼田町教育長杯争奪  
パークゴルフ大会  
6/15 (月) ～子ども水泳教室

## 【7月～9月】



7/ 5 (日)  
第53回町民スポーツまつり  
7/ 9 (木) 沼田町長杯争奪  
パークゴルフ大会  
7/24 (金) サマーデイキャンプ  
7/30 (木) ～夏の宿泊キャンプ  
9/ 4 (金)  
NHKすずらん記念「明日萌の里」  
ペアパークゴルフ大会

## 【10月～12月】



10月  
明日萌・ほたるの里ウォーキング  
10月 ～沼田っ子の夢応援事業  
10/24 (土) ～町民芸術祭 (作品展示会)  
11/ 3 (火) 町民芸術祭 (芸能発表会)  
11/ 8 (日) 町民交流フェスタ  
12/23 (水) ウィンターデイキャンプ

## 【1月～3月】



1/ 7 (木) ～冬の宿泊キャンプ  
1/10 (日) 20歳を祝う会  
3/25 (木) ～  
北空知小中高生研修会 (仮)  
※12月と3月の研修事業を統合

## ■ その他実施予定の事業 ■

- ・生きがい講座
- ・家庭教育講座
- ・子ども文化劇場
- ・教育長旗争奪少年野球大会
- ・教育長杯小学生バレーボール大会

『生きがい講座』講師募集中！  
皆さんの特技や趣味を  
町民の皆さんに教えてください！  
まずは気軽にお電話ください。

## 【令和7年度 あいさつ運動における標語コンクール作品紹介】

沼田中学校2年生 (現3年生)】

「あいさつ一つで明るい一日が始まる」

あおき はると  
青木 陽音さん

「元気良く 挨拶したら 気持ちいよ」

あきや てつた  
秋谷 哲汰さん

お問い合わせ…沼田町教育委員会教育課 ☎35-2132

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>



書店や図書館で本を選ぶとき、どのようにして選んでいますか？表紙で選んだり、帯に書いてある内容や作者で選んだりと様々だと思いますが、本に慣れてきたらやってみてほしい選び方は『本の出だしで選ぶ』です。

個人的な体験談ですが、タイトルに惹かれて本を購入したときよりも、出だしを読んでみて（この文章は読みやすいな、おもしろいな）と感じた本の方が最後までするすると読むことができ相性もよかったのです。これは小説の場合だけでなく、マンガや絵本などほとんどの本に当てはまりました。

個人的な体験談なので、表紙が気に入る方もいると思いますし、作者買いする方もいると思います。ですが、もし今の本の選び方に飽きてきたり悩んでしまうときは、一度『本の出だしで選ぶ』というのをやってみてほしいと思います。もしかしたら普段だったら選ばないという本に出会える機会になるかもしれません。

図書館だと本の出だしや書き方をじっくり読んで借りてみるというのも気軽にできますので、図書館に来館した際はぜひ一度やってみてください。



## 新刊図書

### 《一般書》

デラシネ「霧の樹海」篇	梶永 正史
サチコ	群 ようこ
マカン・マラン	古内 一絵
アイドル経営者	大倉 忠義
時の家	鳥山まこと
青天	若林 正恭
光と糸	ハン・ガン

### 《児童書》

はじめての梅しごと	高野 紀子
すいとうのひとやすみ	村上しいこ
ぎょうざがとなりにひっこしてきました	玉田美知子

デコピンのとくべつないちにち	ファニー・リム
スーパー戦隊大図鑑ハイパー	ポプラ社

## 新刊図書おすすめ!!



『それ犯罪かもしれない図鑑』  
監修：弁護士 小島 洋祐  
出版社：金の星社

普段の行いで小さく見えることでも、実は犯罪になる場合もあるって知っていますか？

そんな日常にひそむ〈実は犯罪に当たるかも〉ということが載っている本書は、子どもはもちろん大人も学べる一冊です。まち・友だち・学校など、場面ごとに分かれていてカラーイラストも豊富なので見やすくわかりやすいです。図書館に来館した際は、ぜひ手に取って読んでみてください。

## 家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。  
[http://opac-numata.lib-wa.net/web\\_opac/simple\\_search.php](http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php)



# 地域おこし協力隊 活動新聞

担当 観光支援員 村上 欣喜  
(産業創出課)  
☎ 35-2155

皆さん、こんにちは！「地域おこし協力隊 活動新聞」では、月に一度、沼田町の地域おこし協力隊員の活動内容などを町民の皆さんにお伝えします！

今回は、2月にオープンした「おもやどぬまた」についてご紹介します。

## おもやどぬまた、ついにオープン！！

沼田町地域おこし協力隊商工業支援員（株式会社 alpha 所属）鈴木円佳隊員、鹿内魁人隊員等により町内の空き家を改装した「おもやどぬまた」という宿泊施設が2月11日（水）にオープンしました。

一棟貸しのプライベートな時間、どこか懐かしさがある内外装が実家に帰ってきたような安心感と居心地の良さを感じさせます。

現在は1階のみが完成しており、最大で3名様のご宿泊が可能です。今後2階の工事も完了すれば最大で10名様以上の宿泊が可能となります。

さらに現在はオープン価格として素泊まりがおひとり様6,000円、青春酒場キタモリで沼田のクラフトビール付き夕食プランが9,000円ご利用いただけます。

観光やビジネス利用など様々なシーンでご利用いただけますので、町外のご友人様などにぜひお勧めください。



### 【基本情報】

住所：沼田町旭町3丁目4番33号

電話：090-3392-6633（佐々木隆光）

チェックイン：15時から21時

チェックアウト：11時まで



次回の協力隊新聞は石狩沼田駅レストラン特集となります。

3月31日で廃線となる石狩沼田駅のイベントでの協力隊員たちの様子をお届けします！

# 自治体初の「けいナビアワード大賞」を受賞！

テレビ北海道で放送されている「けいナビ～応援！どさんこ経済～」において3月21日（土）社会課題解決や地域活性化に貢献した企業・団体を表彰する「第4回けいナビアワード」で自治体では番組史上初となる大賞に輝きました。

昨年建設したクラフトビール醸造所や移住促進といった町全体の多角的な取組が評価の決め手となり、横山町長は「小さな町ですので、持続可能な環境を作るために町そのものが株式会社というイメージで取り組んでいる姿勢が今に至っています」と話され、番組内で、自治体が主体となって「稼ぐ力」と「住みやすさ」を両立させる当町のスタイルが、地域活性化の新たなモデルとして提示されました。



## アプリやSNSで最新ニュースを発信中！

  
 YouTube

  
 Instagram

  
 X

  
 LINE

  
 Facebook

  
 ホームページ



広報ぬまたを  
**マチイロ**で簡単チェック！

  
 IOS用

  
 Android用

### 人の動き

(令和8年4月1日現在)

人口 2,683人 (前月比 ▲28人)  
 男性 1,302人 (前月比 ▲18人)  
 女性 1,381人 (前月比 ▲10人)  
 世帯数 1,420世帯 (前月比 ▲7世帯)

#### ■総人口増減内訳

増加) 転入：15人 出生：0人  
 減少) 転出：37人 死亡：6人

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

### 交通事故死ゼロ

(令和8年3月31日現在)

**5,014日継続中!!**

### 移住定住情報公式サイト

沼田町の定住奨励制度や暮らしの情報が満載です。



### ぬまわーくサポートデスク

沼田町では求職者と求人者をつなぐために、無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」を開設しています。



氏名	死亡月日	年齢	住所
市橋 忠晴 さん(男)	3月10日	82歳	市内4
上田 信子 さん(女)	3月20日	87歳	西町
谷口 隆裕 さん(男)	3月29日	64歳	東予
伊藤 幸夫 さん(男)	4月1日	93歳	西町
石脇 敏彦 さん(男)	4月9日	86歳	市内1北

おくやみ